

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

1月7日(木曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

ユーロ/ドル、1.45ドルがカベ  
豪ドル/円、昨年来高値更新

6日(水)の主な推移



期間：6日(水)午前7時～7日(木)午前7時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所：外為どっとコム

- ① 朝方に発表された豪11月住宅建設許可件数が前月比+5.9%、前年比+33.3%とかなり強い内容となったことを受け、豪ドル/円が上昇。豪ドル/円主導でクロス円が軒並み上昇した。
- ② 欧州中銀のシュタルク専務理事が、「欧州連合がギリシャを救済することはない」と述べたことを受け、欧州市場序盤ではユーロ売り・ドル買いが先行し、ユーロ/ドルは一時ドルを1.43ドル割り込んだが、1.43ドル割り水準では底堅く推移し、その後は反発。ユーロ/ドルの反発に伴い、ユーロ/円、豪ドル/円の上昇基調が持続した。
- ③ 12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録で、一部の委員が住宅ローン担保証券(MBS)買い入れの段階的な縮小がぜい弱な住宅市場の回復を損なう恐れがあるとの懸念を表明したことが明らかになり、米国の金利先高観がやや後退。これを受け、ドル買い、ユーロ売りが優勢となり、ユーロ/ドルは1.4434ドルまで上昇したが、1.44ドル台中盤では上値の重さが示された。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4355-1.4485ドル  
ユーロ/円 : 132.30-134.00円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 84.80-85.85円

本日のユーロ/ドルは 1.44 ドル台前半を中心にもみ合う展開となりそうだ。昨日発表された米 ADP 全国雇用者数や米 ISM 非製造業景況指数の雇用項目が軒並み米雇用市場の改善を示したことに加え、明日に米雇用統計の発表を控えていることから、ドルに対するセンチメントが悪化している訳ではなく、本日中に 1.45 ドルを上回る可能性はかなり少ないだろう。

一方、ユーロ/円は 133 円ちょうどを中心にもみ合う展開となりそうだ。米経済の回復基調が改めて示されたことでやや円安基調の推移が持続しやすいとみられるが、明日に米雇用統計の発表を控え、積極的な取引は見送られやすいだろう。

豪ドル/円は強い推移が持続しそうだ。今朝発表された 11 月の豪小売売上高は前月比+1.4%となり、市場予想の+0.3%を大幅に上回ったことを受け、豪ドル/円はリーマンショック直後の 2008 年9月下旬以来の高値 85.52 円を記録した。

12 月のバッテリーノ豪州中銀副総裁の発言を受けて大幅に後退した豪州の金利先高観が再び強まると見られ、豪ドルのファンダメンタルズは先日から本日にかけてかなり改善した。

明日の米雇用統計の結果が気になるところではあるが、豪ドル/円は当面底堅い推移が期待できる状況となっている。

### 本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/7(木)	19:00		(ユーロ圏)12月消費者信頼感	-17	-16
	19:00	○	(ユーロ圏)11月小売売上高[前月比]	± 0.0%	± 0.0
	21:00	◎	(英)BOE 政策金利発表	0.5%	0.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com